

名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会第40回幹事会議事録

- ・日時：平成24年3月19日（月）15:05～17:00
- ・場所：西尾市幡豆支所中会議室
- ・出席：（沿線市町）西尾市交通対策課 近藤課長、中根課長補佐
蒲郡市企画広報課 竹内課長、小田主査
（愛知県）地域振興部交通対策課 岡本主幹、矢口主査
（名鉄）計画部事業推進課 小川課長補佐、山口担当員
東部支配人室 加藤課長
（オブザーバー）中部運輸局鉄道部監理課 二輪専門官

〔総会提出予定資料：平成24年度の検討スケジュールについて〕

- 検討スケジュールの表については、「利用状況の確認・現状把握・今後の路線の在り方の検討」の中の「今後の路線の在り方の検討」を「平成25年度以降の運行及び支援の継続についての検討」に加える。

〔ワーキング部会の確認事項〕

- ・24年度の西尾・蒲郡線の検討については、「存続」を前提に検討をスタートする。まずは、方向性を定めてから、名鉄への支援金額を決定する。
- ・24年度総会は、10月と3月の2回開催する。幹事会は、4月から隔月ごとに開催するものとするが、必要に応じて随時開催とする。
- ・総会の資料は、「次第」、「検討スケジュールについて」、23年3月に締結した「確認書」、「西尾・蒲郡線（西尾～蒲郡間）輸送人員の状況」とする。
- ・報道機関へのリリースは、21日（水曜日）に西尾市、蒲郡市ともに行う。

〔情報交換について〕

- 東三河地方の8市町村でつくる東三河広域協議会が4月から1年間、圏内の小中学生を対象に公共施設を無料で利用できる「ほの国こどもパスポート」事業を試行することについて検討している。これは、住民交流を促進し、地域の活性化を図る狙いがあり、蒲郡市独自の施策として、他地域の小中学生が名鉄電車を利用した場合でも、蒲郡市の2施設（水族館、生命の海科学館）の利用を無料とする予定である。
- 名鉄西尾・蒲郡線を利用して、蒲郡市内の旅館で宿泊した場合の1,000円キャッシュバック事業については、1,000人分好評のうちに終了した。
- 吉本興業株が募集していた、「あなたの街に“住みます”プロジェクト」地域発信型映画の舞台に蒲郡市が採用され、3月の沖縄国際映画祭で上映予定である。その後、蒲郡市内でも5月27日に上映される予定だが、上映館やその他の上映スケジュールは未定である。
- 蒲郡市が中心となって作成している「名鉄西尾・蒲郡線沿線おすすめマップ」は、

10,000部の発行を予定しており、3月29日に納品される。

- 3月9日(金)に「にしがま線応援団」が利用促進キャンペーンを行った。28事業所を廻り、電車通勤等の日常における電車利用の呼びかけを実施した。
- 2月18日に名鉄が主催した、沿線の酒蔵めぐりイベント「美味し 三河の酒紀行」(最寄:西幡豆駅)は、172名の参加があった。また、2月19日に西尾東ライオンズクラブが主催した、こどもの国における桜の植樹イベント「さくらを植えよう」は、往復乗車券発行枚数ベースで855組の実績となった。名鉄側では臨時列車を2本、車両増結を2本行うなどの対応を実施し、混乱もなく順調に輸送を完了した。
- 2月の西尾～蒲郡間の輸送人員は、前年比+4.0%と、名鉄全線の+3.9%を上回った。年間の数字は活性化計画に定められている目標値に達することは厳しい状況ではあるが、昨年度実績には到達できそうな見込みである。

(以 上)